

第1号

令和4年4月28日

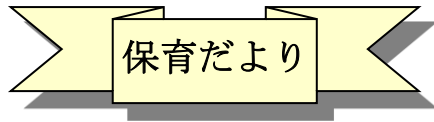
庄和すずらん幼稚園

新しく入園された皆さま、そして、進級された皆さま、おめでとうございます。この“保育だより”は、すずらん幼稚園の園運営や教育理念、教育内容、教育方法、そして具体的な実践を、皆さまに知っていただく一助として、思いつくままに発表させていただく欄を“保育随想”“幼稚園情報”として、園長が担当し、毎月一回を目安に配布させていただくものです。

保育随想

★ 出会う！

木々の緑が美しい季節を迎えました。少し前にも普段目に付かない場所にも、沢山の桜がきれいに咲いて居ることに、驚きと共に、心躍る風景も味わって参りました。そして、幼稚園の竹林、冒険の森にも、沢山の形状の違う竹の子が勢いをもって空に向かって育つ力強い姿も感じさせて貰いました。新しく幼稚園に入園して来た子ども達の姿は、これらの春を迎えて精一杯にそれぞれの姿を形にしている自然の姿に重なります。私たちのこれまでの歩みは、これらの自然の移り変わりの中で、多くの人との出会いで自分の物語が作られて来ました。思い起こしますと、一生懸命に打ち込んだ時代にも家族も友人も居てくれたのだと改めて思うのです。思うように行かない時に孤独の中で過ごした時代も、何やら時が解決してくれたと思えるのですが、やはり、見て居てくれた人は居たのでした。お陰で投げ出さずに前に向かって来れたのだと思うのです。どんな時にどんな人に出会えたのかは、その後の人生にも時間が経てば経つほど大きな存在に成って居ることに気付くのです。両親や家族だって当たり前前の存在ではないことにも思い至ります。思うことを思うようにやれて来れた！いやいや、思い通りには行かないことだらけでした！と言いたくなる方もお出でかと思いますが、目標を作って達成出来なかったから失敗なのかと申せば、それは勿体ないことで、一生懸命に生きてご自身の歩みの価値は失われて居ないことにも、ご自身を支える大きな力に成って来たのではないのでしょうか。断片的なお話しに成って来てしまいましたが、新しい集団の生活に入った子ども達のこれからは、いろいろな価値を持った自分と違う人たちとの生活で、一緒に活動できる喜びも大いに体験できることと思いますが、思うように行かない場面や友達と、自己主張と併せて仲良く出来る方法や道を探し出して行く毎日でもあります。生涯生きて行く為の学びの体験が始まったのです。どんなに嬉しいことが待って居るのでしょうか。どんなに一生懸命にやれることに出会うのでしょうか。人間は知らないことを知りたい探求欲求も持ち合わせております。それが友達と発見出来たりするのです。昨日、今年一回目の、地震を想定しての避難練習を行いました。大人も子どもも、怪我をしないように気を付けて生きて居ること、病気にならないように気を付けていること、そして、誰もが自分の命は、自分で守って生きて居ることに気付いて貰うきっかけに致しました。子ども同士も大事です。周囲で過ごす先生も大事です。そして、生きる方法や価値を伝える、ご家庭の人達の言葉は、もっと大事です。家庭人でありながら、自立に向かって生きる子ども達の最大の環境人でもあります。これから成長を楽しみに丁寧に寄り添って参りましょう。



第2号

令和4年5月31日

庄和すずらん幼稚園

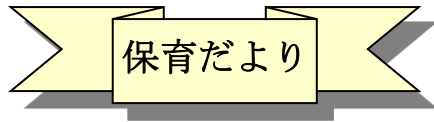
保育随想

★ 泣ける！

緑の美しい季節を迎えました。保護者の皆さまのご協力で、親子遠足やいちご狩り、田植えなども実施することが出来ました。この2か月余り幼稚園の生活に慣れて貰うことに、子ども達も先生も一生懸命の日々でした。ママが良い～！そうですよね！此処までに幾度となく救ってくれたママが良いのです。困ったときにいつも救ってくれたママですから！

その時の対応は、一緒に泣いて居るだけでも良いのですが、先人は、おもちゃ売り場で、買って！買って！泣きじゃくる子どもを救い上げて、おーおーかわいそうに！買って貰えないで悲しいの？と言いながら、その場を移動して、しばらくすると気持ちが落ち着いて、そのおもちゃの事も忘れて、次にある目の前の事に普段通りに戻るものなんですよ！なんとも乱暴な扱いだなども感じたものでしたが、よく考えてみると、自分の気持ちが伝わらない、受け止めてもらえない状況に救いを求めていることに、思いが至りました。多くの事が、此のあたりの事を理解して受け止めて行ければ、原因がわかって解きほぐしても気持ちは楽にならないことを見ても、どうやら自分の今の気持ちを受け止めてくれる存在が、次への道につながるのかな？事実は解決していなくとも、そのあとは、自分で考え気持ちが落ち着く様に収めて行けるものなのだな！と考えるのです。いろいろな場面で思い通りに行かないことや場合によっては怪我につながる事が出て来ます。そんな時代に、おーおー可愛そうに！と気持ちを受け止めてくれる家族であり共に生活する先生が居てくれたなら、心おきなく泣けるのです。先日、小学校3年生の女の子の卒園生との話の中で、私、小さい頃に戻りたい、だって、お母さんに抱っこされたいから！と言うのです。如何でしょうか？それでも私も大人に成ってしまっていて居ますので、大人に成るとね、自分の子どもが出来た時に抱っこするともっと気持ち良いんだよ！なんて余計なことを言ってしまいました。そうだね～！と聞いてお終いにすれば良かったと少し悔いております。心おきなく泣ける時代から、我慢をしたり道理が分かって来たりして、いつの頃からか心おきなく泣くことを控えるようになって来ているよね。それも、自分の事では泣かないように、それが強さだ！しかし、他の人の辛いことや悲しみや一生懸命な姿に胸が熱くなります。泣けます。皆さんも涙を流したい時は沢山お有りだったことと思います！私は弱音を吐かない！愚痴らない！辛いと言わない！痛くても痛いと言わない！これも頑張りかも知れません！こう言う方は、見方を変えると周囲に迷惑を掛けないように心して生きて居られるのかも知れません！

私たちは、周囲の人の幸せにも喜びにも不幸な出来事にも、共に同じ気持ちで涙を流せませぬ。大人に成って沢山の事を学びながら、生きやすい道を選択して生きて来えています。大人に成ると不自由ですか？いろいろな制約が有りますから！そうなんですよね、その諸々を考えてバランスをとって生きているんですよね！それが大人の歩みなのですが、せめて、心おきなく子ども達を泣かせてあげませんか、せめて私達も心おきなく泣きませんか。



保育随想

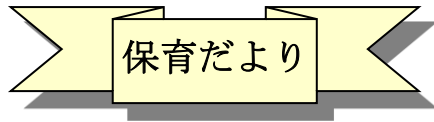
★ 自分のからだ！

関東地方は早々に梅雨明け宣言が成されました。幼稚園でも七夕の行事に向けて園庭に面する柱には飾りつけの竹が立ちました。家庭へのお持ち帰りの笹も用意され、お部屋での活動も、これからの夢や希望を託して短冊やお飾りの製作が始まりました。同時にそれぞれのご家庭でもその様な活動が行われ、ご家族で成長に期待をもって過ごされることと思っております。七夕笹送りの行事は、自然の中で生きる私たちが物語を作り願いを込めて、想像の世界を広げ、自然の不思議さと興味や関心などの心が育つ行事として進めております。

いろいろな活動を経験をして、その先に生まれる心を育てたい！そういう意味でも、七夕笹送りの行事は楽しいものです。沢山の経験や活動の中で心が育てられるのでありますが、どんな心で、どんな人に成って欲しいの？どんな心で生きて行ける人に成って欲しいの？お子さんのこれからの成長への願いは、生まれて来てくれて名前を決める頃から沢山の願いをもって今日までお出でになったこととご推察いたします。

私たち大人も健康への願いは生涯の物であり、ひたすら健康に生きることを目指して生きていると言って過言ではありません。いろいろな運動も生涯を生き抜くためには、体を支える筋肉を付ける、元気に歩けるため時間を取る、そして医食同源と言われるので、バランスよく美味しく適量を食べる、塩分を控えめに心掛ける。体の事は良く分からないけれど、コマーシャルを聞いて、サプリメントも併用してとる。定期的にお医者さんの診断を受けて、それら諸々に気を付けて暮らして居る私達です。よし、これで万全か！とも思えないながら、精一杯の努力をしております。周囲で走っている人、歩いている人、ジムに通っている人、お仲間と物づくりで健康を目指す人、楽しめることに没頭している人などの姿を見て、それぞれに、良いな～！思うのです。此のところで聞き及んだ話なのですが、心と体を結ぶものは、**呼吸なんです！**とおっしゃる人が居たのです。運動する場合も鍛えたい所に気持ちを集中して、併せて息を吐きながら運動を繰り返す。また体の筋肉にも意思が有りまして気を入れて沢山吸い込み沢山吐くことで酸素が行きわたるとのことです。一方で心が落ち着く方法で、4秒かけて、ゆっくり吐いて、ゆっくり吸うことを繰り返してみると、不思議に気持ちが落ち着くのです。疲れの多くが脳の疲れ！と言われます。身体を休ませることも大事ですが、楽な姿勢でゆっくり呼吸をしてみることを、お勧めします。併せて縮こまった筋肉もゆっくり、呼吸と合わせて伸ばしてみる！私、体が硬いの！と感じている人は、痛くないように、痛くないように体を使い動き易い生活をして行きますので、関節を取り巻く筋肉も縮みっぱなし状態になります。考えてみますと随分、長い間苦手な個所から逃げて来ました。

準備運動をしっかりやりましょう！運動の終わった後には、整理運動に時間をかけてゆっくりやりましょう！元気なうちほど守られて来なかった為に、筋肉も痛んでいる現状と考えます。呼吸を整えて痛んだ体と心を整える、呼吸を意識した生活をして参りましょう。



保育随想

★ 夏祭り！

年々歳々花相似たり、歳々年々人同じからず！という表現されますように、幾らかの違いはありますが、同じように季節は回って来るのです。私達も季節の移り変わりの中で、其の季節ならではの経験をしながら、思い出作りをして来たと申せましょう。

ここ数年、コロナ禍で実施できなかった、夏のお祭りは取り分け思い出に残るものです。今年はやれていますね～！嬉しいことです。幼い頃の忘れられない思い出も残ってお出での事と思います。地元の春日部市でも古利根川沿いから上がる花火と市内の大通りに沢山の人が集まり、お神輿が回り、沿道にも楽しみな食べ物や遊べるお店が並び、その中に身を置いて居るだけでも高鳴るものです。大勢の人が作り出すお祭りの雰囲気は、みんなが楽しそうで良いものです。毎年、父に連れられて行き、お蕎麦屋さんで食べる食事もお父さんの思い出と重なります。老いも若きも、そして幼子も笑顔の中で群れて生きることは楽しいものです。取り分け、祭りに参加出来ている人たちの姿は周囲にも幸せを放っています。地元の知人友人と一緒に楽しみ、見物の方々から応援を頂く舞台は応えられない喜びの時間かと想像します。大人も子ども地域で楽しめる機会が無くなりつつありますので、みんなの力で続けて貰いたいものです。実は、その後の人生の歩みにも、思い出にとどまらず、自分自身の誇り、生まれたところの誇りに成っていることに気付きます。やれることより、やった経験があることに意味があります。

そんな思いが有りまして、幼稚園も行事で育つ幼稚園生！と知らず知らずに思い込んで日々の活動にも取り組んでおります。幸いにも子ども達も群れて、みんなと一緒にやるのが大好き、相談して一つの物を作ることも大好き、楽しそうです。周囲にいる大人が教えることを超えて、子ども同士で考えて育ちあう生活がなんと多いことか！あの大きなお祭りと同じように、子ども達も考えて相談して一緒に生活することを楽しんでます。この土日で、年長組さんたちが、さしま少年自然の家にお泊り保育に行けました。目標は、みんなと一緒に生活を楽しむ中で、身の回りのことを自分でやろうとする体験であります。今まで出来なかったこと、いや、やらなくても良かったことが自分で出来ている自分は、やはり次への意欲につながります。また、二学期には総合活動としての運動会も予定しております。お祭りを計画する方々と同じように、参加者一人ひとりの運動会として支援して行くのが私たちの役目です。自分ではやっているつもりなのですが、見せ合ったりしながら、自分が意識するところに気付く動きは新しい発見に成ります。お祭りの大人同士での意思の疎通を、子ども達も同じように、声を掛け合って作り上げる運動会なのであります。幼稚園の生活も言ってみれば、お祭りの連続と申せましょう。お祭りが終わって、お酒を酌み交わす気持ちも、子ども達は味わっております。お酒は大人に成ってから！

保育随想

★ 決めつけない！

食欲の秋到来！いろいろな形で、この季節の楽しみを表現されますが、何ととっても美味しい物を沢山食べられる！自然が育ててくれた新鮮な果物が食卓に上ると、感謝の気持ちと共に幸せを味わえる瞬間です。一日の出来事に彩を添えて終わることが出来ます。

少し前まではメロンで幸せを感じ、そして梨が、ブドウが、桃が、食べられます。作ってくれた人たちや産地を思いながら頂ける何と幸せなことでしょう！と思うのです。私は夕飯が好きです。明日も朝を迎えて一日のやるべき事が待って居てくれることにも感謝しなければならないところでしょうが、一日の中でゆっくり休める時間なのですから、そして一日を、ゆっくり振り返られる時間なのですから！どなたも、心穏やかに過ごしたいという願いはお持ちに成ってお出での事と思います。今日は今日で、あの事は、あれで良かったのだと落ち着かせる時間でもあります。自分の出来ないことは、人にさせることは止めよう！自分が出来ないのだから腹を立てるのは止めよう！そんな風に考えると、穏やかな自分が取り戻せるのです。意見を持つことは大事ですが、自分と同じ人は、当然のことながら居ないのです！

話を聞いてくれる人が居たら、これは特別なことで当たり前のことでは無いのです！心穏やかに生きると言うことは、何をとっても難しい事なのかも知れませんが、意外と心掛け次第では道が開けているのではないのでしょうか！多くの事が、周囲や他人の言動や立ち振る舞いが、自分と違うことが気に成って落ち着かなくなりますよね？ましてや、身近に生活を共にする人の言動や意見の違いは、捨てておけなくなるのです。これって、ごくごく普通の感情だと思うのですが、先にも述べましたように、自分と同じ人間は居ないのであります。

折角頂いた命です。健康維持に一番の障害はストレスと耳にします。多くの病気がストレスから来る様です！とも聞いて生きて居りますが、そのストレスの多くが周囲の人の所為です！そうかも知れませんが、このままですとストレスは消えてなくなりません！多分、生涯、持ち続けるお宝に成ってしまいそうです。諦めたらいかが？とは申しませんが、少し高飛車に申せば許してやろう！でも宜しいかと思えます。自分とご縁の出来た人は生涯の財産だと思えます。自分から嫌いに成るのは勿体ないと思うのです。テレビに出て来る顔も、慣れてくると慣れるもので不思議なもんです。私ってこう言う人と主張して生きる人も、結構生きずらくして居るのではないのでしょうか？今まで、大した形にも成らないままで生涯を送っております、何やら得意なものを見付けることよりも、不得意なことや知らなかったことの穴埋めの作業が楽しくなって居ることは有りませんか？自転車は乗れるけれど泳ぐのは嫌だな！どうしたら、自分をニュートラルに出来るのか？どうしたら心穏やかに過ごせるのか？いやいや、難問で答えは出せないのですが、幸せの形も生き方も目標も計画も思い通り行かなかった事だらけでしたが、形や結果に囚われ過ぎますと、それは失敗！と成ってしまいますので、一生懸命に立ち向かえたことを喜びとすることなのではないのでしょうか。